

ユーザーズガイド

★ユーザーズガイド(本書)を必ずお読みください



かき氷器 YUKIYUKI

品番:K-IS4

【セット内容】

本体…1台／製氷カップ…3個
ユーザーズガイド…1枚／レシピブック…1冊

株式会社ラドンナ

<http://ladonna-co.net/>〒135-0031 東京都江東区佐賀1-5-9 永代MKビル
「Toffy」は(株)ラドンナ、(株)キングジムの登録商標です。

△ 注 意

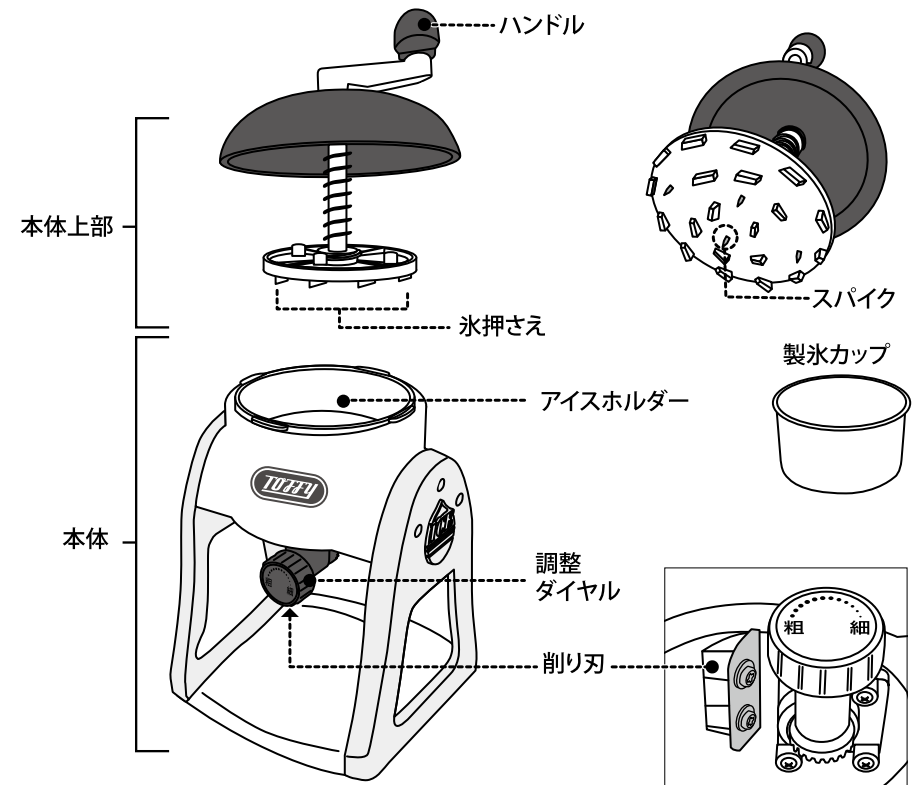
- 本書を必ず読んでから、ご使用ください。
- 幼児の手の届くところで使用しないでください。又、お子様だけの使用は避けてください。必ず保護者のもとでご使用ください。
- 削り刃とスパイクは、構造上、鋭利になっており危険です。ケガの原因となりますので直接手を触れないでください。
- 火気や暖房器具の近くでの使用・保管は絶対にしないでください。変形の原因になります。
- 不安定な状態や場所での使用はしないでください。
- ハンドル、調整ダイヤルなど可動するところには指など入れないでください。はさまれてケガをする恐れがあります。
- バラ氷や市販のロックアイスは使用しないでください。削り刃が欠けるなどの恐れがあります。必ず専用製氷カップをご使用ください。
- 安全のため、変形したり破損など、異常がある場合は危険ですので絶対に使用しないでください。
- 袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 廃棄の際は、各地方自治体の廃棄区分に従ってください。
- 使用前と使用後は、本体及び付属品を良く洗ってください。
- 削り刃、スパイクなどの金属部分に水分が残っているとサビ等の原因になりますので十分に乾燥させて保管してください。

＜製氷カップの使用上の注意＞

- 使用前と使用後は、中性洗剤をスポンジに付け洗い、よくすすいでください。
- 製氷カップに入れる水などの材料は必ず8分目にしてください。
- 製氷カップを加熱したり、電子レンジの中に入れたりしないでください。破裂や変形の原因となります。
- 本体と製氷カップを洗うときは40℃以上のお湯で洗わないでください。変形や変色の原因となります。
- 食器洗い乾燥機等での洗浄はしないでください。変形の原因となります。
- 色の濃い材料で長時間使用されますと、製氷カップが染まる場合があります。
- 製氷カップは製氷用途以外の使用はしないでください。
- 使用後は、十分乾燥をさせ保管をしてください。

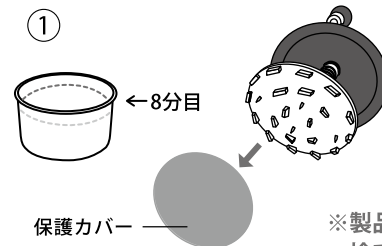
製 品 仕 様			
	本体	氷押さえ	製氷カップ
原料樹脂	A B S・ナイロン	P S	P E
寸 法	縦20×横19.7×高さ35.5(cm)	縦14.5×横14.5×高さ16.8(cm)	縦11.9×横11.9×高さ6.4(cm)
耐熱温度	70℃	70℃	70℃
耐冷温度	-20℃	-20℃	-20℃

各部の名称



使い方の手順

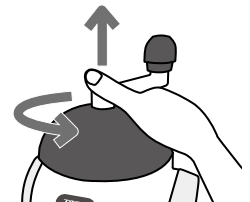
①



本体を梱包材から取り出し、本体上部の氷押さえについている保護カバー(※)ははずし、本体に取り付けます。また、付属の製氷カップの8分目まで水を入れ冷凍庫に入れて凍らせます。

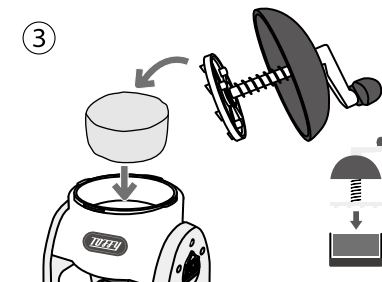
※製品の保管用に氷押さへの保護カバーは捨てずに保管してください。

②



本体上部を反時計回りに回して、上に本体上部を引き上げます。

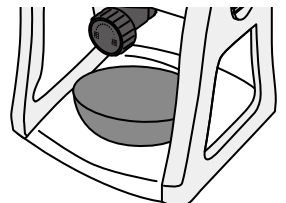
③



製氷カップで作った氷を本体のアイスホルダーに入れ本体上部を本体にセットします。本体上部を時計まわりに回してしっかり固定しセットしてください。

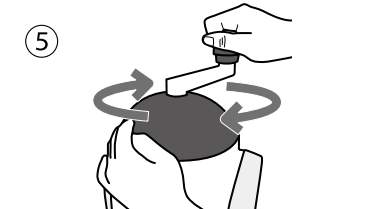
スパイクを中心部分に合わせ垂直に入れてください。

④



本体の下に、削られた氷を受ける容器をセットします。

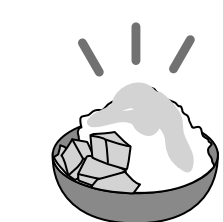
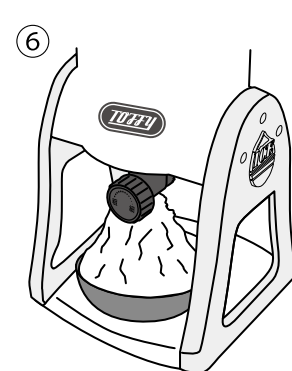
⑤



本体が動かないように片手で本体上部を押さえ、ハンドルを時計まわりに回して、氷を削ります。調整ダイヤルで氷のキメをお好みの粗さに調整します。

※削り始めは、調整ダイヤルを「粗」にセットし徐々に細かいほうに回してお好みの粗さに調整をしてください。

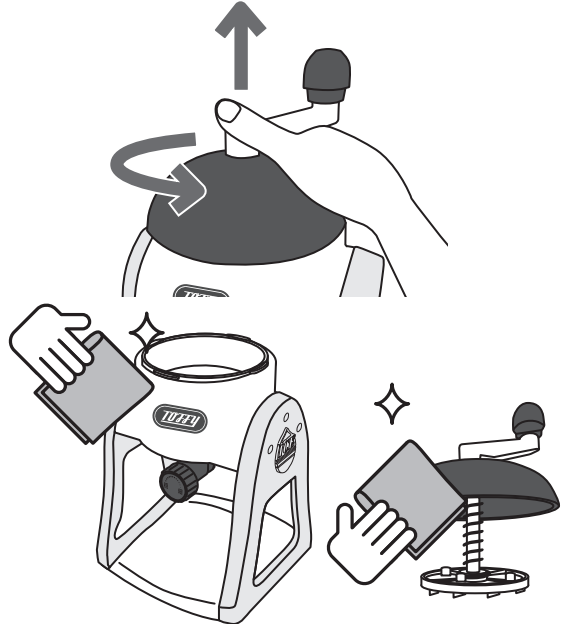
⑥



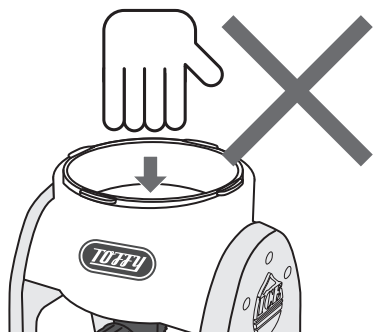
お好みでお好きなフルーツやフレーバーをトッピングするなど、おいしいスイーツを楽しめます。

お手入れ・保管方法

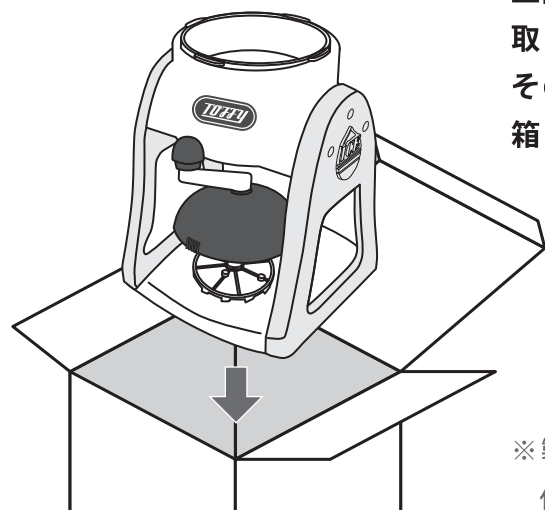
■お手入れ方法



※直接手を入れないでください



■保管方法



⚠ 注意

●スパイク・削り刃は直接手で触れないでください。けがの原因になります。

1. 本体上部を反時計回りに回して、上に本体上部を引き上げて本体からはずします。

2. 本体・本体上部・氷押さえを乾いた布で拭きます。

※ スパイク・削り刃には十分注意してください。スパイク・削り刃には直接手を触れないよう水洗いをして、完全に乾かしてください。スパイクや削り刃など金属部分に水が残っているとサビが発生する恐れがあります。

【お願い】

- お子様には絶対にふれさせないようにしてください。
- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは使わないでください。変色や変形の原因になります。
- 落ちない汚れは布に中性洗剤をしめらせてよくしぼってから軽く拭きとってください。使用した中性洗剤はよく洗い流してください。
- 洗うときは 40℃以上のお湯で洗わないでください。変色や変形の原因となります。

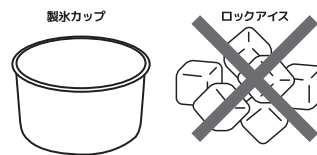
長時間ご使用にならない場合は、取り外した本体上部の氷押さえに、保管していた保護カバー(EPE)を取り付け、本体の内側に入れ、箱にしまってください。その際、サビが発生しますので、完全に乾いてから箱に入れ保管してください。

※製品の保管用に氷押さえの保護カバーは捨てずに保管してください。

Q & A

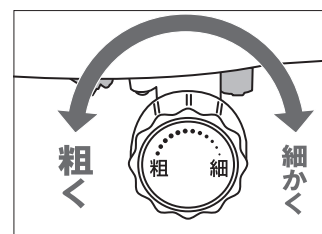
Q1 おいしいふんわり氷を作るにはどうしたらよいですか？

A1：必ず付属の製氷カップで作った氷を使用してください。



※製氷カップに入れる水などの材料は必ず8分目にしてください。入れすぎると製氷カップの破損の原因となるだけでなく、氷が取り出しにくくなります。
※バラ氷や市販のロックアイスは使用しないでください。削り刃が欠けるなどの恐れがあります。

A2：削り刃の高さ調節ができる調整ダイヤルは、下図のように右に回すと削る氷が細かく、左に回すと粗くなります。削った氷がふんわりとならない場合は削り刃の高さを調節してください。



※削り始めは、調整ダイヤルを「粗」にセットし徐々に細かいほうに回してお好みの粗さに調整をしてください。
※一度削り刃の高さ調整を行っても氷の状態によって粗さは異なります。おいしいふんわり氷を作るには毎回調整することをオススメします。
※調整ダイヤルを調整する際は削り刃に手を触れないでください。
※調整ダイヤルを右に回しすぎると、氷に刃があたりず空回りして削れない場合があります。
※調整ダイヤル部にはギアが露出していますので指などを入れないでください。挟まれてケガをする恐れがあります。

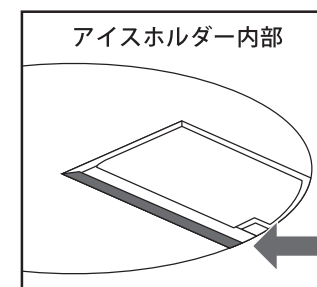
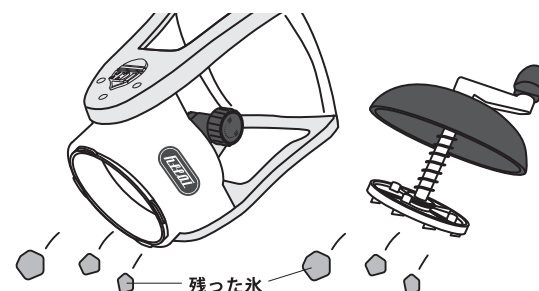
Q2 氷削り中に氷が滑って空回りしたらどうしたらよいですか？

A1：はし等の細いものを使い、アイスホルダー内の氷を動かしてください。

A2：A1を行っても空回りした場合は、アイスホルダー内の氷を裏返ししてください。

A3：A1・2を行っても空回りした場合は、アイスホルダーの削り刃の隙間・溝に削った氷が詰まっていらないか確認してください。氷が詰まっていたら、アイスホルダー内を流水で流し、取り除いてください。

A4：構造上、氷は全て削ることはできず、アイスホルダー内・スパイクに氷が残ります。そのままアイスホルダーに新しい氷を入れても空回りの原因となります。新しい氷を使用する際は、アイスホルダー内・スパイクに残った氷を必ず捨ててください。



※上記の方法を行う際は、必ずアイスホルダーの削り刃に注意して行い、削り刃に直接手を触れないでください。

⚠ 削り刃に注意

Q3 氷が削れない。

A1：調整ダイヤルが「細」になっていませんか？構造上、刃のあたりが弱く削れない場合がありますので、削り始めは調整ダイヤルを「粗」にセットし徐々に細かいほうに回してお好みの粗さに調整をしてください。